

# こんぶくろ池通信

2018年11月

第55号

(古橋さん追悼号)

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800

Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: http://www.konbukuroike.com

## 主な予定

### アドバイザー会議

11月20日(火)

10:00~12:00

於：管理棟前

### 「出発！ローカル線聞きこみ発見旅」放送予定

### BSテレ東

11月26日(月)

18:55~21:00

### 忘年会

12月8日(土)

13:00~15:00

於：カーポート

## 古橋さんの思い出

会長 石渡 信之

2006年4月1日(土) 午前10時、千葉大のシーズホールは大勢の皆さんが詰めて、いっぱいになっていました。

そこで「里山隊」の設立総会が開かれ、森さんはじめ各役員の方々、緑地担当室の吉川さん、今井さん達が揃っていました。また、こんぶくろ池のアドバイザーに就任していただいたお三方の先生達も含め、当時の皆さん、若かった。

総会は森さんの挨拶から始まり、会則、役員選出、事業計画や予算案を決めて滞りなく総会は終了しました。そして記念撮影の為か、椅子の片付けかはっきり覚えていませんが、皆さんが一斉に立ち上がり、真ん中あたりで立ち上がった人の姿が目飛び込んできました。古橋さんその人でした。

月2回の活動を始めましたが、最初の2~3年は旧ホテルリーベ前の笹刈と一帯のゴミ拾いの連続でした。やがてNPOになり、事務局が八代さんから古橋さんにバトンタッチされました。

当初、仕事もされながらこんぶくろ池の活動を行われ、まちづくりや子どもの健全育成を大切にされていました。地域とのコミュニケーションを図る目的でいろいろなアイデアを出され、その企画力、実行力には目を見張るものがありました。そして今日まで私たちを、強力に引っ張って来ていただきました。

古橋さんが選ばれたものがありまして、ご存知の「竹とんぼ」です。ボランティアを始めてから作り出した竹とんぼは、最初は上手く出来なかったそうです。試行錯誤を重ね次第に完成度を上げ、子供や大人までも引き付ける強力な道具になりました。その数は優に1万本を超えています。そして亡くなる直前まで竹とんぼを作り続け、10月21日のイベントを気にかけていらした様子です。

これから竹とんぼを見るたびに思い出すでしょう。

ご冥福を祈ります。合掌。



## 故 古橋さんを偲ぶ

駒嶺 重房

あまり覚えていないのですが、最初の頃はまだ古橋さんが現役だったと思います。退職されてからは、私が早めに行ってもいつも作業している古橋さんがいました。その古橋さんが、来世の人となって、いまだに信じられない気持ちです。

お亡くなりになる3週間ほど前でしたか、竹とんぼの材料を取りに来たと竹を切っていました。それから約2週間後、再び古橋さんの体調が悪くなった頃、ちょうど私も体調が悪かったので、「お互い歳だから気をつけなきゃ」と話していたところでした。

幸い私は川岸まででしたが、古橋さんは愛車のバイクで橋を一気に渡ってしまったんですね。

こんぶくろ池周辺に来ますと、ベストの黄色が見えるといつも古橋さんでした。今日は見えないなと思うと、森の中から水量測定の望遠鏡を担いで出てくる時もありました。夏場には涼しいうちにてづくり広場の芝刈りをやって来たとか、本当にタフな人だったと思います。

てづくり広場ができた頃は、子供達が危険だと周辺一帯のアメリカオニアザミ退治に歩き回ったことや、イベントでの工作教室など多大な経験をさせていただきました。来世でも子供達に竹とんぼ、ゴム鉄砲を作っているかな？

前にテレビの和尚さんの話で、来世では最上に行くために修行の毎日で、私たちを見守ってくださいとお祈りするのは間違いで、見守る余裕はないそうです。私達も頑張りますと上を目指して頑張ってくださいとエールを送りたいと思います。

合掌

## 理事会へのお誘い

会長 石渡 信之

平成30年度は、NPO法人こんぶくろ池自然の森が発足をし、9年目を迎えています。今年度は委託範囲を北部地区に限定し、園内の里山整備・調査活動はおおむね実施ができています。また新当番制度も、皆様のご協力により順調に運営されてきています。

3月のサポーター講座の後加入していただいた会員や、口コミ、ホームページを見ての新規加入の方も増えてきました。イベントについては開催数を絞り、無理のない範囲で企画・実施をしてきています。

日常活動については上記の通りですが、今後、こんぶくろ池の森をどのような形で整備していくかについては、大きなテーマとなっています。一朝一夕にできる事ではありません。「市民で作る100年の森」です。息の長い活動を目指し、出来る事から取り掛かる必要があると思います。

NPO 全般の運営は、理事会を中心に、事務局や会員の協力を得て日々行っていますが、十分に行えているかという点で力不足の面が否めません。11月20日のアドバイザー会議で整備の基本方針、実施方針が固まれば、来年度以降の活動内容が広がると予測されます。

一方、それぞれの会員の方はこれまで多様な経験を積み、いろいろな知識、技能をお持ちになっていると推察しています。理事会ではワードやエクセル、ネットワークなどのパソコン知識や経理面を含めた色々な事務作業、これからの活動を行う上で一層の企画力やアイデアを必要としています。

会員の皆様には理事会へ参加していただき、事務局での業務あるいは理事としての活動をお願いする次第です。よろしくお願いいたします。

自薦、他薦につきましては、事務局の工藤さんまでご連絡をお願いします。

---

## 新入会員紹介 徳永 さと子さん



会員の皆様のおかげで、年々ステキな公園になっていくのを見ていましたが、子供も高校生となり時間ができましたので、今度は中に入って私も何かお手伝いしたいと思い入会しました。身近な自然の季節ごとの変化に触れながら、動植物の調査や保全活動ができたと思います。よろしくお願いいたします。

趣味・好きなこと：昆虫観察、飼育、自然観察など

取り組んでみたいこと：こんぶくろ池周辺の昆虫相調査

## 月別平均値の水位データに関する知見について

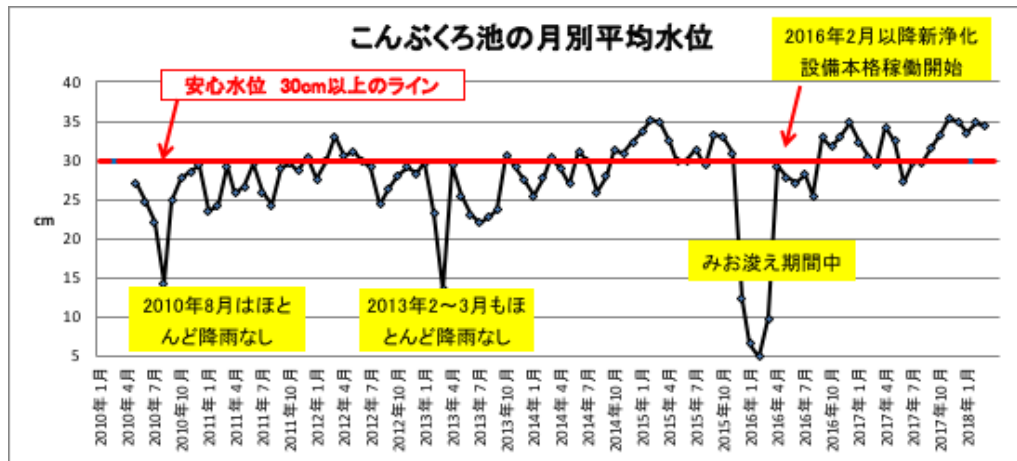
2018年10月8日

古橋 勲

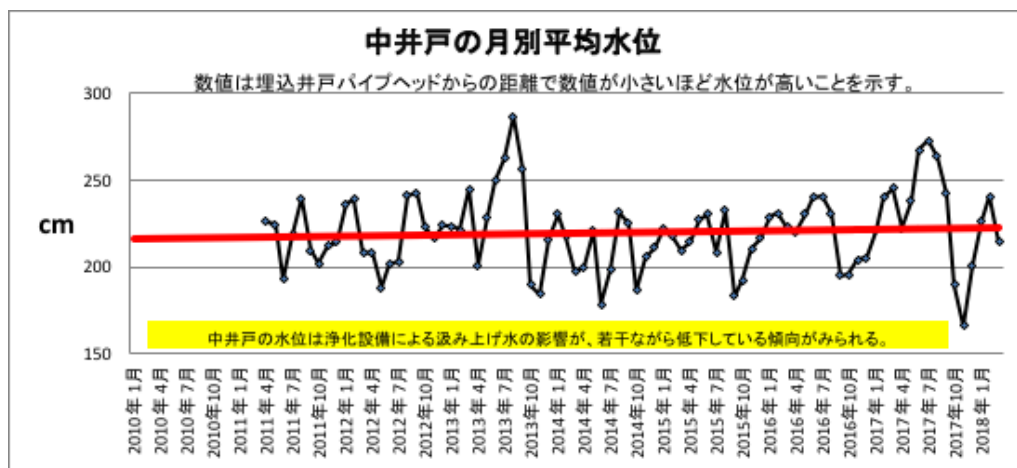
NPO 創設以来、ほぼ毎日測定してきた8年間のこんぶくろ池水位と、池の出口部分に設けられていた地下水位測定用の井戸の水位データの動きについて若干の分析を行ってみた。

残念ながら私の測定は、胃がんの告知を受けて以来2018年3月をもって終了致しましたが、いつか再開できる機会があれば、こんぶくろ池の置かれている状況の解析が出来るものと思います。

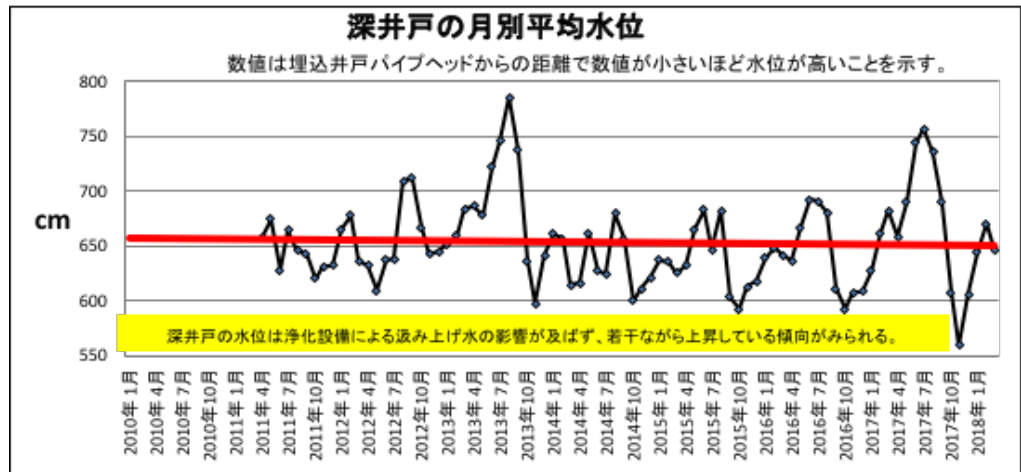
注) 中井戸および深井戸は地表約1mHの井戸パイプの上端からの水位を測定している。



こんぶくろ池の安心水位は30cm以上は、2016年2月に浄化設備が稼働してからはほぼ達成できている。

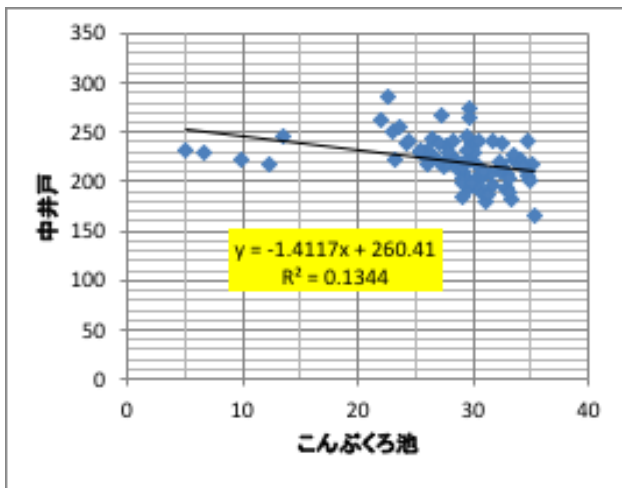


中井戸の水位は降雨に強く影響されるが、最大値と最小値の差は、約1.2mもあった。

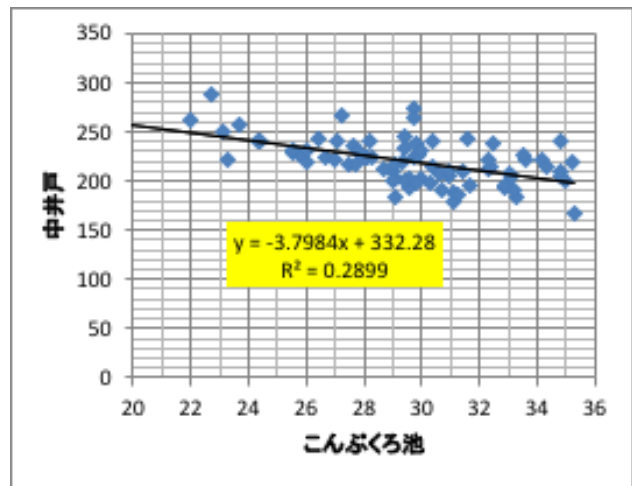


深井戸の水位も降雨に強く影響されるが、最大値と最小値の差は、約 2.3m もあった。

こんぶくろ池 VS 中井戸 (全データ)

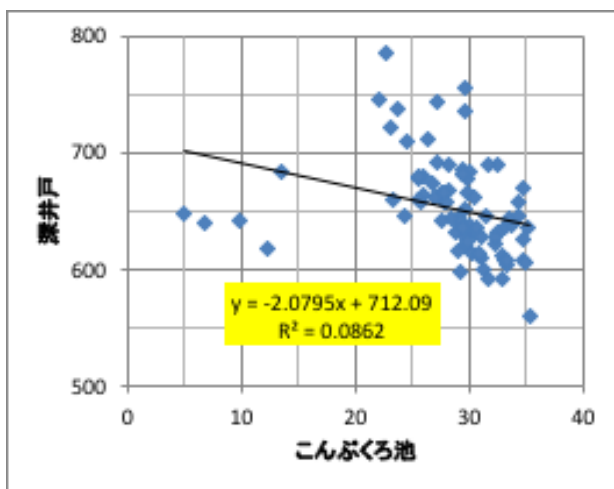


こんぶくろ池 VS 中井戸 (みおたえ時のデータを除く)

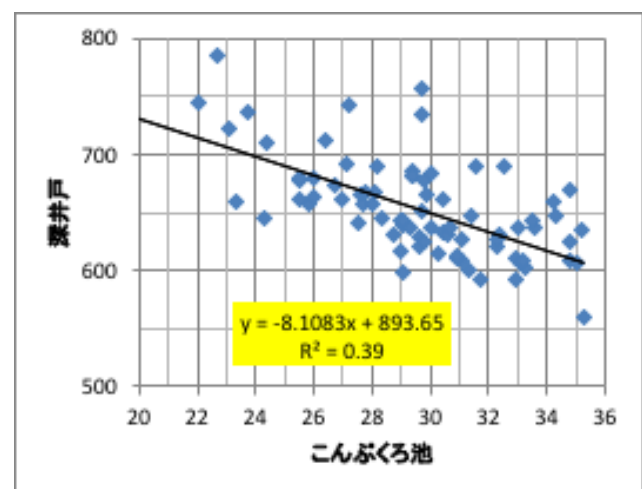


こんぶくろ池の水位は中井戸の水位と相関があると思っていましたが、相関は認められるものの数値的にはさほど強くはなかった。しかしながら、グラフを見た限りバラツキも小さく、相関はあるとみてよいものと思います。

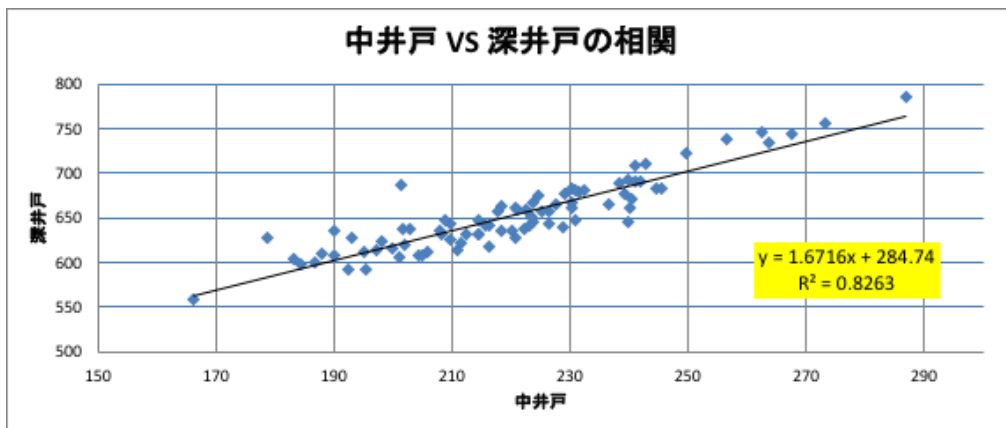
こんぶくろ池 VS 中井戸 (全データ)



こんぶくろ池 VS 中井戸 (みおたえ時のデータを除く)



こんぶくろ池の水位は深井戸との相関の方が数値的には高い値になっている。



当然のことながら、中井戸と深井戸の相関は密接な関係にあることは、このデータでも明らかである。

## 11 月理事会

2018 年 11 月 4 日（日） 10:00～12:30

出席理事：石渡、市川、岡本、上田

### 1. 課題、提案、検討事項

#### ① 行き先看板設置

→高山さんから提案のあった、北部地区園内 4 箇所設置、記載文字（案）承認。管理棟、こんぶくろ池など。

#### ② 契約当番、新規加入会委員の当番への組み入れについて

→当番回数の実績、退会者等の資料を基に検討。4 月以降の新会員を対象とするが、直接了承を得た上で 11 月中旬以降に実施する。

#### ③ 来年 3 月末をもって役員の任期満了、次期役員の改選方法、新理事勧誘状況

→対象を広げて理事、または理事会サポーターとしてのお願いを継続する。理事の人数についても今後の検討課題とする。

#### ④ 11/10 県民プラザの「フォトコンテスト」

→11/10(土)コンテスト当日 8:30 から管理棟前にテント設営。  
9:00 受付開始 9:30 開会式 14:00 岡本さん審査員として参加  
15:00 以降片付け。

## 2. ズミ再生計画

千葉環境再生基金 助成金申請 実施の可否および担当者等の検討  
→助成金の申請は時間が限られており、難しい面がある。事業実施の予算確保は柏市への働き掛けも含め、時間をかけて行う。

## 3. 11/20(火)10:00 アドバイザー会議開催 森の維持管理について

- ・議題の確認（調査班より）
- ・出席予定者の確認

→理事会で検討した「アドバイザー会議」への提案を修正し、11/5 公園緑政課へ送付。

## 4. その他

### ① 地金掘り北側 東京合板境界の越境真竹伐採

→11 月以降自由当番で実施。

### ② 石渡より休会の報告

→12 月から病気療養のため休会。今後の里山活動記録は複数の会員に依頼する。

### ③ 1 番通路、管理棟前枯れ木（ニセアカシヤ 3 本）

→危険昆虫の活動停止を待ち、伐木。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

## 編集後記

10月7日（日）毎月第一日曜日の理事会に、突然古橋さんが現れました。抗がん剤で苦しい日々が続く中、比較的体調が優れておられたようで、久しぶりにお元気な姿を拝見し、少しずつ回復されているんだろうなと、ほっとしました。ちょうど私の当番チームが10月末から11月にかけて当番の時期に当たっていましたが、欠員が多く代理の人捜しに困っていたところ、古橋さんから、「竹とんぼ作りでもするから当番に入るよ」と言っていただき、お言葉に甘えて2日分入っていただきました。さらに、こんぶくろ池通信のネタに困っていたところ、8日には「記事を書いたからメールで送っておきました」と電話をもらい感謝の言葉をお伝えしたのが、最後の会話となってしまいました。その時の記事が今月の古橋さんの記事になります。

ご自身も徐々に体調が良くなってこられて、こんぶくろ池の活動に参加することを誰よりも楽しみにされていたのではないかと思います。それだけに一番信じられない気持ちでいるのが天国の古橋さんかもしれません。

本当にお世話になりました。ご冥福をお祈りします。（萩原秀夫）